

『かわら版』
第16回

「セーフコミュニティ」ってなんだろ!?

「セーフコミュニティ」について詳しく知りたい方は、市HPをご覧ください♪



「セーフコミュニティ」は、みなさんの身近に起こっている**事故やけがを予防する取組み**のことです。「事故やけがは偶然に起こるのではなく、原因を調べ対策を行うことにより、予防できる!」という考えのもと、**みなさんが一緒になって、安心安全なまちづくりを進めていくことが大切です。**

「学校の安全」分野の取組

学校の安全対策



- 目標** 小中学校の校内等でのけがの減少
- 取組** 校内パトロール、「危険」などの表示、危険箇所マップづくり、キャプテン会議の実施 など



具体的な取組内容については、第10回目のかわら版(平成28年6月発行)でご紹介しています。是非、ご覧ください♪



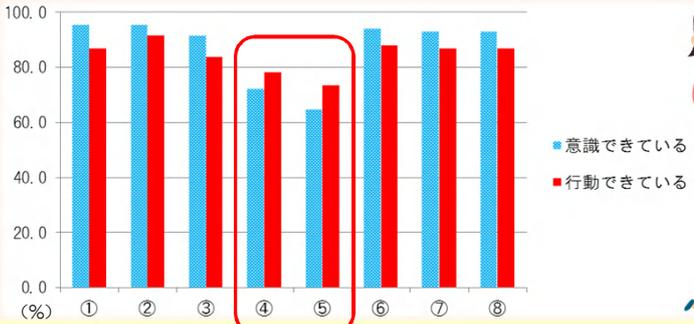
学校の安全対策委員会では、次の**8つの観点**から、安全に行動できる子どもを育成し、**学校内での事故やけがの減少**を目指しています!

ポイント

学校内でのけがを防ぐための8つのポイント

- 1 周りの安全を確かめる
- 2 遊びや運動のルールやきまりを守る
- 3 無理なことはしない
- 4 遊びや運動中に他のことを考えない
- 5 遊びや運動が上手になる
- 6 準備運動や整理運動をする
- 7 具合の悪いときは無理をしない
- 8 早寝・早起き・朝ご飯で元気に過ごす

8つのポイントについて、一部の小中学生を対象に、意識できているか、行動できているかを調査(市教育委員会)



注意! 調査結果を見てみると、とくに、④と⑤のポイントがなかなか浸透していないようです。遊びや運動中に、なぜ、けがが起きているのか、遊びや運動が上手になると、なぜ、けがが減っていくのか子どもに考えさせ、理解させることが大切です。子どもにけがの原因について考えさせることで、無意識な行動から、理解に基づく意図的な行動へと高めていきましょう。

重要! ドッジボールの時に、宿題のことを考えていたら、友達とぶつかってけがをしてしまった。しっかりとボールや周りの動きに気をつけて遊ばないといけないんだ。跳び箱も、練習をすればするほど、助走の仕方や手のつき方が分かって、恐い思いをすることがなくなったぞ!

プラスUPセーフティ～小中学生の交通事故～

○ 平成28年度の小中学生(市立)の交通事故発生件数は **66件(69人)** (市教育委員会調べ)

歩行中の交通事故

小学生 **38人**
中学生 7人

約3分の1が小学1年生の交通事故でした!

自転車乗車中の交通事故

小学生 **17人**
中学生 5人

約半数が小学6年生の交通事故でした!

ポイント

小中学生の交通事故は、歩行中が6割を超え、なかでも新入生の小学1年生の事故が多い傾向にあります。交通ルール・マナーをしっかり守り、交通事故から身を守りましょう!



鹿児島市では、WHO(世界保健機関)が推奨するセーフコミュニティに取り組み、**28年1月29日に国際認証を取得**しました。

鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課 セーフコミュニティ推進係(市役所東別館2階)
TEL: 099-216-1512 FAX: 099-226-0748